

平成30年 新春飾り物展

作品募集

新春を祝う恒例行事「飾り物展」の作品を募集します。
新年の祝賀にふさわしい題材の作品をお待ちしています。

- ◇テーマ 干支「戌」又は歌会始お題「語」。
※題に「語」の文字が入ること。熟語でも訓読でも可。
市内の町内会、同好会、各種団体、市内在住の個人。
- ◇資格 概ね100センチ×90センチに収まること。
- ◇規格 文化会館窓口で配布する応募用紙に、必要事項を記入の上、12月22日(金)までに、同窓口に提出か文化協会へ郵送、またはFAX。HPからの応募も可。
- ◇応募

【飾り物展日程】

- ◇日時 平成30年1月12日(金)～14日(日)
午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)
- ◇会場 文化会館3階講堂・美術工芸室

ヤングチャレンジ部門

高校生以下を対象とし、身近な道具で作る、若い感性あふれる飾り物を募集します。

※「ヤングチャレンジ部門」と明記してください。

お月見歌会 入選歌

平成二十九年度道伝えの日 9月30日(土)開催

例年、高山市文化伝承館で開催する「道伝えの日・お月見歌会」を九月三十日に開催しました。今年は、一般四十六名、高校生四十名の方々と応募いただきました。

今年も選者に、日本歌人クラブ中央幹事であり短歌会新アララギ代表の雁部貞夫先生をお招きし、指導をしていただきました。

次に、応募者による互選結果と、雁部先生が選ばれた短歌をご紹介します。

◎課題歌「月」

互選一席 代掻きの濁りおさまり宵の田に月影うつる明日は田植

井上 文生

互選二席 麻痺したる左手を撫で聴き入りぬいつか弾きたし

片岡 和代

互選三席 マヨールの広場に照る月とんがりて異国の風は鋭角

和田 操

雁部先生推薦 麻痺したる左手を撫で聴き入りぬいつか弾きたし

片岡 和代

「月光ソナタ」

◎自由歌

互選一席 また一つ更地になりてまた一つこの地の記憶おぼろ

片岡 和代

互選二席 弓を持ち袴穿きたる男子乗りきりとなりぬ各駅停車

西 春彦

互選三席 余命知り綺麗に生きたる友のあり梅雨晴れの朝くち

小林 久子

互選三席 杖をつきゆつくり歩む人のあり駆け回る子あり午後

広瀬 亮子

雁部先生推薦 添乗員がひとりふたりと数へれど時間守らぬいつも

橋本 隆司

の彼女 権兵衛に地蔵長嶺美女といふ峠を越へて飛驒へと帰る

和田 操

◎高校生の部 課題歌「月」

【飛驒神岡高校】

入選 十六夜に照らされていた五線譜はマラーの交響曲

二年 濱本 蔵人

三日月のような温もり感じたく冷えきつた指をそつと

握る 一年 清水 千聖

三日月の勾玉の穴見つけたり望遠鏡のレンズを締めて

一年 古田 雅人

【吉城高校】

入選 思い出す空に輝く満月に私が生まれた日のエピソード

一年 大森 玲衣

神岡のお城のほとりを流れゆく青胡桃のごとき十六

夜の月 一年 尾上あさがお

億千のきらめく星のただ中に月は天心アルプスの空

一年 高原 華子

綾線が大きく見える月白に今日の月待つ祖父は窓辺に

一年 水口可奈子

天窓の月の光に誘われて芝生に転がるほわほわ散歩

一年 駒屋めぐみ

十六夜や少し欠けてるその形まるで私の姿のようだ

一年 北村沙由里

「風目(目)」

日が短くなってきた。

「日は又昇る」なんて言われてもそりゃあ夏の話しで、今は「しかし日は又沈む」なんて言いたくなる。「朝の来ない夜はない」つてのもつい「夜の来ない朝はない」といいたくなる。

高杉晋作の辞世の歌が「おもしろきこともなき世をおもしろく」で、介抱していた愛人の尼が「すみなすものは心なりけり」と下の句を継いだという。本当のことは色々異論があるようだがそんなことはどうでもいい。要は歌の中味。お叱りを受けるのを覚悟で言う「心なりけり」がつまらない。そんなことは当たり前で、その心の持ちようが問題。人の心も太陽も昇ったり沈んだりする。

「三千世界のカラスを殺し、主と朝寝がしてみたい」と歌った奇兵隊の風雲児の辞世の心はどんなものだったのか。「酒」か「女」か「朝寝」か「恋」か：そうなる」と都々逸か。

これから暗く寒く長い冬が来る。アナタも盃を傾けながら「すみなすもの」は何か探しませんか。

〈ガンモン毛筆〉

無料上映会 メセナメイトシアター

キューポラのある街

【1962年公開】
(モノクロ)
東野英治郎、
吉永小百合出演

平成29年

12/5 火

①午後3時～
②午後6時30分～
(開場各30分前)

高山市民文化会館小ホール

メセナメイト会員限定無料上映

※入場券は開場1時間前より配布

お問い合わせ:(一社)高山市文化協会 (Tel.0577-34-6550)

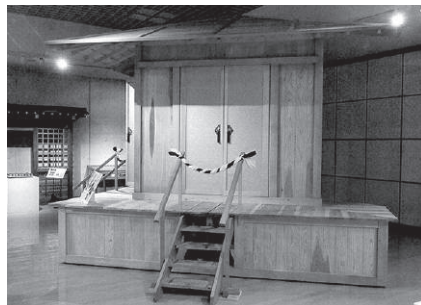
飛騨匠・カラクリのお堂を 飛騨・世界生活文化センターで展示

ご覧ください。(入場無料)

第十四回国民文化祭さふ99
において、(社)高山市文化
協会が作成し飛騨匠の技を披
露したカラクリのお堂は、平
成二十二年の平城遷都千三百
年祭など数回公開した以外
は、長らく文化会館倉庫に保
管されてきました。

今回、飛騨木工連のご理解
を得て、飛騨センターにおい
て飛騨匠・カラクリのお堂の
常設展示が実現しました。

現代に受け継がれる飛騨匠
の技を、ぜひ飛騨センターで



「カラクリのお堂について」

平安時代の説話集『今昔物
語集』に飛騨匠の話があり
ます。百済の絵師と飛騨匠の
腕比べの話で、匠の建てた
お堂に絵師が入ろうとする
と、開いていた扉が勝手に閉
まって別の扉が開き、開いた
扉から入ろうとすると、また
閉まって別の扉が開くカラク
リ。このカラクリを(有)丸
山建築が考察し再現したもの
です。

(一社)高山市文化協会加盟団体
文化協会後援 催事案内

高山市美術展覧会

◇日時 十一月三日(金) ー
五日(日)

午前九時～午後五時(最終

日は午後四時まで)

◇会場 文化会館二階～四階
◇入場無料

市展運営委員 写真展

◇日時 十一月十日(金) ー
十二日(日)

午前九時～午後五時(最終
日は午後四時まで)

◇会場 文化会館二階展示室
◇入場無料

第四十九回 高山市民吹奏楽
団定期演奏会

◇日時 十一月十八日(土)
午後六時三十分開演

◇会場 文化会館・大ホール
◇料金 一般一、五〇〇円
学生五〇〇円

(当日各三〇〇円増)

瀬音会五十周年記念 地唄・
箏曲演奏会

◇日時 十一月二十三日(木)
祝) 午後一時開演

◇会場 国府さくらホール
◇料金 全席自由一、〇〇〇
円、中学生以下無料

高山市民合唱団「飛騨」
第五十九回定期演奏会

◇日時 十一月二十六日(日)
午後二時開演

◇会場 飛騨センター飛騨芸
術堂

◇料金 大人一、〇〇〇円
十八才以下無料

月亭八方 爆笑寄席



月亭方正
山崎邦正

月亭八方

月亭遊方

タイアップ

平成29年

11/19 日

午後2時30分開演
午後2時開場

丹生川文化ホール

高山市文化芸術鑑賞事業 主催 高山市・(一社)高山市文化協会

チケット料金(税込) 全席指定

〔一般〕2,500円〔メセナメイト会員〕2,000円
〔ジュニア(18才以下)〕500円

プレイガイド

高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
丹生川文化ホール tel.0577-78-2468

http://www.takayama-bunka.org

路線バス
時刻のご案内

◆高山13:40発→平湯方面・町方13:56着
◆平湯方面・町方17:12発→高山17:31着

ウィーン=ベルリン ブラス・クインテット

Japan Tour 2017 Wien-Berlin Brass Quintet

ウィーンVSベルリン
世界最高峰オーケストラのトップ奏者による
夢のクリスマスコンサート

《プログラム》

J.S. バッハ: クリスマス・オラトリオBWV 248より

「われはただ汝の栄光のために生きた」

J.S. バッハ: 主イェス・キリスト、われ汝を呼ぶBWV 639

W.A. モーツァルト: アダージョとフーガ ハ短調 KV 546

A. ドヴォルザーク: ユモレスク B. バルトーク: ルーマニア民族舞曲

マーティン・ブレイン: あなたに楽しいクリスマス L. パーンスタイン: ダンス組曲

A. ピアソラ: コラールとタンゴ ほか

※満員は都合により予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

平成29年

12/19 火

午後6時30分開演
午後6時開場

こくふ交流センターさくらホール

高山市文化芸術鑑賞事業 主催 高山市・(一社)高山市文化協会

チケット料金(税込) 全席指定 ※未就学児入場不可

〔一般〕3,000円〔メセナメイト会員〕2,500円
〔ジュニア(18才以下)〕500円

プレイガイド

高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
さくらホール管理事務所(2F) tel.0577-72-4480
飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180

http://www.takayama-bunka.org

○お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org